

Report:

AOGS (Asia Oceania Geosciences Society) は、アジア・大洋州地域における地球科学分野の意見集約や合意形成を行うと共に、当該地域社会に対する情報発信を行うことを意図して 2004 年に設立された新しい国際学術団体である。対象とする研究分野は固体地球から大気や海洋、水文分野に至るまで幅広く、年に 1 回学会が開催されている。第 5 回目となる今年の AOGS2008 は韓国のブサン市 BEXCO (Busan Exhibition and Convention Center) で 6 月 16 日～21 日の 6 日間開催された。学会の参加者総数は 1700 人を超え、初めての国際学会参加であった私にとっては、広い研究分野と接する有益な機会であった。

私は 6 月 19 日、セッション HS01 (Ground Water Hydrology and Management) で “*A Numerical Method Combining the IADI Method with the Modified Picard Iteration Method for Solving Multi-Dimensional Saturated-Unsaturated Flow Equation*” というタイトルで発表を行った (fig.1)。発表内容は土層流れの飽和不飽和流モデルの新たな計算法を提案する内容であった。初めての英語発表であり、発表の何日も前から大変緊張したが、話す内容を先にまとめて覚えておく練習をし、本番では練習通りに発表することができた。質疑応答の時間では、計算法についていくつかの質問とコメントをもらった。そのなかでも、そのセッションの Convener から、自分が当時まで考えていなかった計算法を挙げ、その計算法と比較することをコメントとしてもらった。日本に帰ってきてから、コメントとしてもらった内容を勉強していくうち、これからの自分の研究内容を進められる大きなヒントを得ることができた。

AOGS2008 では水文分野 (HS) だけでも 23 個のセッションがあり、自分のセッション以外にもいろいろ興味深いセッションが多かった。その中で特に面白かったプレゼンテーションは “*ADVECTIVE TRANSPORT IN POROUS MEDIA: Analytical, Computational and Experimental Approaches*” というタイトルの HS 分野の Distinguished Lecture であった (fig.2)。自分の研究と直接関係している内容ではなかったが、地下水の数値的な解法に関する内容であり、研究を進めていく過程・方法が面白く、自分がこれから研究を進めていく時のためになると思った。その他に HS06 (Predictions in ungauged basins) セッションは、現在の研究室で行っている研究と関係しており、非常に面白く聴くことができた。似ている内容を他の国または他の研究室では、別の接近方法で解決していくことが面白かった。これから研究者として活躍していくためには自分の研究に深く取り組むだけでなく、視野を広く持つ必要があることを実感した。

謝辞

貴財団の援助で今回の学会での発表を無事おえることができました。ここに深く感謝するとともに、今後もこの援助プログラムを継続していただけることを希望いたします。



Figure.1 My presentation



Figure.2 Distinguished Lecture of Hydrological Science